


塗料性状

項目	主剤	硬化剤
容姿	2液(1:1)	
荷姿	3kg、800g、200g、50g	3kg、800g、200g、50g
色相	微黄色透明	無色透明
密度	0.92	0.96
粘度	8.4秒(FL 5mm)	8.7秒(FL 5mm)
不揮発分	51.7%	42.4%
引火点	36℃	-4℃
消防法区分	第4類第二石油類	第4類第一石油類
有機溶剤予防規制	第2種有機溶剤含有	第2種有機溶剤含有
劇物表示	該当無し	該当無し

注)上記の数値は標準を示すものであり、ロット等により若干の変動があります。



塗装仕様書はこちら

●この製品は必ず、左記のQRコードより、
塗装仕様書をよく読んでから使用してください。

注意事項

- シンナー希釈は不要です。シンナーは入れないでください。
- 被塗物の異物(切削材、ダスト、油分、水分)は塗装前に完全に除去してください。
- プラスチックには耐溶剤性が弱いものがあります。素材ごとの特性を掴んだ上で使用してください。
- 基材によっては一度に過剰な厚塗りをする、クラックやタレが発生する可能性があります。一度の厚塗りは避けてください。
- 標準塗布量の範囲で、タレ、塗り残しの無いよう均一に塗装してください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上、表面結露の見られる場合には塗装を避けてください。

塗膜性能

	レンズリフォーマー3	試験条件
塗膜の外観	異常なし	JIS K5600-1-1 (目視評価)
鉛筆硬度	H	JIS K5600-5-4 (鉛筆硬度試験)
光沢度	90	JIS K5600-4-7
密着性	PC	○
耐衝撃性	300g ×40cm	異常なし
耐水性	23℃ ×10日間	異常なし
耐湿性	240時間	異常なし
耐塩水噴霧性	240時間	異常なし
促進耐候性	色差	△E=0.69
耐熱性	80℃ ×120時間	異常なし
耐酸性	5%-H ₂ SO ₄	異常なし
耐アルカリ性	5%-NaOH	異常なし

注)各塗膜性能試験は標準塗装仕様による。

- 火気の無い局所排気を設けた場所で使用してください。
- 取り扱い中は、皮膚に触れないようにし、有機ガス用防毒マスク・保護めがね・保護手袋を着用してください。
- 廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に基づく産業廃棄物として処理するか、または産業廃棄物処理業者に処理を委任してください。
- その他塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(製品データシート)を参照してください。

使用にあたってのご注意

- 作業上の注意点

 1. 塗料・スプレーミストを皮膚や粘膜に付着させない
 - 作業着・手袋・フード付帽子などで、皮膚などに直接付着しないように保護してください。
 - 保護メガネを必ずかけてください。眼に飛沫が入った時は、すぐに大量の水で洗い流し、ただちに専門医の手当を受けてください。
 2. スプレーミストを吸い込まない
 - 塗装の際、厚生労働大臣の行う形式検定に合格した防毒マスク・送気マスクを必ず着用してください。

■イソシアネートの毒性について

 1. スプレーミストの吸入による中毒症状

軽症：不快感・頭痛・咳／中症：喉頭炎と同じような症状／重傷：ぜんそく状の気管支ケイレンを伴う発作
2. 皮膚に触れた場合の炎症

塗料・スプレーミストが直接皮膚に触れると、赤くはれるなどの炎症を起こす場合があります。

 3. 一度中毒症状になると再発しやすい

一度中毒・炎症を起こしたりすると、過敏になり再発しやすくなる傾向があるので注意してください。気管支炎になりやすいなど呼吸器系が敏感な人や既往症のある人、皮膚カブレの出やすい人、アレルギー体質の人は、作業には従事しないでください。

■容器のふたを必ず閉める

 1. 硬化剤：硬化剤は空気中の湿気・水分と反応するので、使用時以外は必ずふたをして、湿気・水分との接触をさけてください。
 2. 主剤：主剤は、使用時以外は必ずふたをして、溶剤の揮散を避けてください。

※取扱いに際しては、安全データシート(SDS)に従ってください。

※2025年4月時点の情報です。 カタログに記載の内容は、予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

彩で未来を創る

 **イサム** 塗料株式会社



東京支店	〒335-0014	埼玉県戸田市喜沢南1-5-37	TEL:048(444)0136	FAX:048(444)0138
名古屋支店	〒452-0824	名古屋市西区こも原町82	TEL:052(502)0136	FAX:052(502)0174
大阪支店	〒532-0035	大阪市淀川区三津屋南3-9-8	TEL:06(6308)1363	FAX:06(6308)1348
福岡支店	〒811-2304	福岡県粕屋郡粕屋町仲原2777-1	TEL:092(611)1360	FAX:092(623)8430
仙台出張所	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町4-2-21	TEL:022(206)6136	FAX:022(208)5136
滋賀工場	〒525-0072	滋賀県草津市笠山8-2-1	TEL:077(562)1360	FAX:077(562)1364
札幌	TEL:011(823)1360	広島	TEL:082(291)1234	

レンズリフォーマー3 カタログ [カタログNo.AA 181-25-04](#) [05-035E](#)

特化則対応	特定化学物質障害予防規則
PRTR法対応	環境汚染物質排出移動登録制度



自動車ヘッドライトレンズ補修用
2液型クリアー塗料



新規ポリウレア樹脂の採用で常温乾燥可能。
加熱なしだからレンズ樹脂部品も安心。



塗装
マニュアル
動画は
こちら▶

Isamu

自動車ヘッドライトレンズ補修用
2液型クリアー塗料

Lens Reformer 3

レンズリフォーマー 3

特 長

1. プライマーレスで密着する自動車ヘッドライトレンズ補修用の2液型特殊ポリウレア樹脂クリアーです。
2. 高耐候性樹脂の採用とUVカット性能の向上により、太陽光の紫外線からレンズ素材を長期間、強力に保護します。
3. 従来品に比べ常温乾燥性に優れているため、塗装後30~40分(23℃・60%RH)でポリッシング作業にうつれます。
4. 常温乾燥することで、加熱乾燥によるレンズ素材や周辺部品への悪影響を避けることができます。

用 途

自動車レンズ部品などのポリカーボネート素材を用いた部材へのクリアー塗装

使用方法



配合比(重量比)

主 剤

硬化剤

1 : 1

シンナー既調合タイプ



可使時間(ポットライフ)



乾燥時間(60%RH)

指触乾燥… 10 分
常温乾燥… 23℃×30~40分
強制乾燥… 60℃×10分以上

※低温及び低湿(30%以下)の環境では、上記よりも常温乾燥に時間がかかります。

塗装基準

下地処理	基材表面の油分、汚れ、埃等を除去し、乾燥した清浄な面とする
塗装方法	エアスプレー
塗装回数	2回
推奨膜厚(μm)	30~40

荷 姿

レンズリフォーマー3 主剤	3kg、800g、200g、50g
レンズリフォーマー3 硬化剤	3kg、800g、200g、50g

施 工 前



黄ばみと一部白濁劣化

施 工 後



補修をする前に(レンズ素材の状態確認)

確 認

- 1 レンズ(素材)の状態を確認する。
また、レンズ(素材)の種類を確認する。

- 補修可否を判断してください。
- 研磨でとれないキズやクラックが入っている場合は、作業を避けてください。
- レンズに色味が入っている場合は、色味を復元することはできません。
- 耐溶剤性の弱い素材には、塗装出来ません。
- レンズ内部に発生した汚れやキズは修復できません。

ヘッドライトレンズ塗装工程

下地処理

- 2 P320ペーパーで損傷部を研磨し、損傷を消す。
- 3 P400ペーパーでレンズ全体を研磨し、旧塗膜を完全に除去する。
- 4 全体を P600 → P800 → P1000 → P1200 → P1500 → P2000 と順番に番手を上げ研磨傷を消していく。
※仕上がりにより、より高い透明性を求められる場合は、さらにコンパウンド(細目→極細目)で磨いた後、コンパウンド成分を完全に除去してください。
- 5 レンズ全体をエコワックスクリーンまたは静電除去剤で脱脂する。

- 旧塗膜が残っていると、密着不良やチヂミの原因となります。また、旧塗膜が脱落している部位も表面の劣化が進んでいるため、確実に表面を研磨してください。
- サンダーが当たらない箇所は手研ぎで確実に研磨してください。
- ペーパー番手を飛ばして研磨しないでください。ペーパー目が消えない可能性が高くなります。
- ポリッシャーでコンパウンド研磨時、水をかけながら素材温度が上がりすぎないように注意ください。変形やクラックの原因となります。

クリアー 塗装

- 6 レンズリフォーマー3を塗装する。

●調合比(重量比):

レンズリフォーマー3 主 剤100
レンズリフォーマー3 硬化剤100

- 塗装回数: 2回塗り
- コート間インターバル: 1~2分
- 必要量(目安): 40~60g/レンズ1個
- 塗装条件(例: PAC530-9ガンの場合)

エア圧 0.10~0.12MPa
吐出量 5~6目盛り
ガン距離 15cm
運行スピード 20~30cm/秒

- 推奨膜厚: 30~40μm(残存膜厚)
- 可使時間: 40分(23℃・60%RH)

- シンナー希釈はしないでください。
- 主剤・硬化剤は重量比で正確に計量してください。
- ※100gセットに関しては、硬化剤50g1本を主剤50gの缶に投入し、充分に振って攪拌する事で調合が可能です。
- 一度に厚く塗装することは避けてください。クラックやタレの原因となります。
- 膜厚不足は塗膜の劣化が早くなります。推奨膜厚を確保してください。
- 塗料使用後は缶の蓋を確実に閉め、冷暗所に保管してください。
- 薄膜の場合、レンズの黄変や塗膜剥離が生じやすくなる可能性があります。ポリッシング後の残存膜厚が30μm以上となるようにしてください。

セッティング

- 7 加熱乾燥する場合は、10分以上セッティング時間をとる。

- 気温が低いときは、セッティングを長めにとってください。

乾 燥

- 8 60℃×10分以上または、23℃・60%RH×30~40分乾燥する。

- 60℃を超える加熱乾燥は避けてください。レンズが変形する可能性があります。

仕 上 げ

- 9 ゴミ等が付着したら、P2000で除去し、P3000でペーパー目を消す。
- 10 塗装面全体をポリッシャーにてコンパウンド研磨する。(細目→極細目とペーパー傷が完全に消えるまで研磨する。)

- ゴミ取りが不要な場合、無研磨での仕上げが可能です。
- ポリッシャーでコンパウンド研磨時、水をかけながら素材温度が上がりすぎないように注意ください。変形やクラックの原因となります。

開封したクリアーと硬化剤の使用期限は1か月です。
使用期限内に使い切ってください。